

登録コード:MH147300 開講年度:2026		授業科目区分	専攻専門科目 必修
科目名	公衆衛生看護支援論Ⅰ（個別・グループ支援の基礎）【20M～24M】 Public Health Nursing Methodology Ⅰ		
担当教員	五十嵐 久人 石田 史織・富澤 真澄		
対象専攻/学年、講義期間、曜日・時限	看護学専攻/3年 前期 前期(前半) 水曜・1時限		
単位数、講義室	1単位	多目的講義室	遠隔授業科目
信大コンピテンシー	該当		
授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素	⇔	授業の達成目標
	MH22カリ・保健, MH20カリ・保健		
	生命を尊び、人間についての幅広い知識を身に付け、対象を全人的に理解して、人々の健康を支援することができる。	⇔	保健分野での健康支援方法を理解する。
	保健・医療において生じている現象を分析し、健康問題を解決するために必要な科学的根拠に基づいた判断の進め方について理解することができる。	⇔	保健分野のEBN・EBMに基づく方法論を理解する。
	保健・医療の専門職者として必要な感性を磨き、基本的知識・技術を獲得して、さまざまな状況で活用できる。	⇔	対象者に応じた技術の展開方法を知る。
	MH23カリ・保健・看護		
	≪基礎的・専門的な知識と技能≫看護専門職者に必要な幅広い教養と基礎的・専門的な知識・技能を修得し、さまざまな状況で活用できる。 ≪科学的探求力≫変化し続ける社会で派生する多様な課題に対して、地域・国際的な視点から、科学的・倫理的・道徳的・創造的に課題に対応していく探究心と、課題克服や目標達成に向けて生涯をかけて取り組む力が身についている。	⇔	対象者に応じた技術の展開方法を知る。 保健分野でのEBN・EBMに基づく健康支援方法を理解する。
授業で学べる「テーマ」	地域運営、環境共生、多文化協働、健康長寿		
全学横断特別教育プログラム			
授業概要	地域に生活する個人、家族、集団を対象として、健康レベルや地域特性に応じた公衆衛生看護活動の方法論について保健活動の実際を通して学び、健康の保持増進と疾病予防のための知識と技術を学ぶことを目的とします。 本授業は、担当教員の地域における保健師、企業内専門職としての実務経験を活かして講義を行います。 本授業は、これまでに学んだ各領域の授業内容を基礎として、地域での支援方法を検討するものです。		
授業計画	第1回 (4月15日)概論の確認、保健活動の視点とマインド、歴史 第2回 (4月22日)ソーシャルキャピタル・健康格差とセルフケアグループ・地区組織活動 第3回 (4月30日)精神保健活動 第4回 (5月13日)感染症管理 第5回 (5月20日)健康学習会の企画1 第6回 (5月27日)健康学習会の企画2 第7回 (6月 3日)産業保健 授業アンケート実施 第8回 (6月10日)筆記試験		
授業の進め方	授業は、パワーポイントスライドと配付資料、視聴覚教材に基づき講義を中心に進めていきます。さらに、能動学習による理解の深化を目指すため、質疑応答に重きを置いた授業展開とし、加えて授業の途中でグループワークや同じ机に座っている人同士のディスカッションが入ります。グループワークでは、個人の事前学習をグループで共有しグループの見解としてプレゼンテーションを行うこと等を課題とします。予習・復習をとおして能動的に学んだ内容を論理的・言語的にわかりやすく他者に伝える経験を積み上げることが重視されます。		
テキスト、教材、参考書	テキスト：Essentials 地域看護学（医歯薬出版） 参考書：国民衛生の動向		
成績評価の方法	筆記試験で評価します。筆記試験は100点満点で60点以下の場合は不合格とします。		
成績評価の基準	授業で示した例題と同レベルの問題が解ければ「水準にある」、応用問題が解ければ「やや上にある」、やや難しい応用問題が解ければ「かなり上にある」、例題からは難しい応用問題が解ければ「卓越している」 秀：100－90点 優：89－80点 良：79－70点 可：69－60点		
事前事後学習の内容	【事前学習について】 毎回の授業の終わりに、次回の授業までに予習しておくべき内容を指定します。 【事後学習について】 前回の授業内容について質問するので、端的にわかりやすく説明できるように準備して授業に臨んでください。 尚、レポートは、事前学習または事後学習として提示します。		

事前事後学習の内容	本授業の単位修得には45時間の学習が必要であるため、以下のような学習時間を必要とします。 授業時間15時間（2時間×7.5回）＋ 自己学習時間30時間（1時間×7.5回）＝ 45時間 ※以上の自己学習時間を考慮して、事前・事後学習に意欲的に取り組んでください。
学生へのメッセージ並びに質問，相談への対応	公衆衛生看護支援論Ⅰは、公衆衛生看護学概論、健康科学論、公衆衛生学、医療社会学、保健・医療・福祉政策論、疫学・保健統計などの知識を活用するので、これまでの学習内容の振り返りをしてください。 質問などがある場合の面談希望の場合は、学外指導等で留守の場合が多いので、あらかじめe-mailか電話で在室をご確認ください。 質問への対応：五十嵐久人 higaras@shinshu-u.ac.jp 石田史織 shioriis@shinshu-u.ac.jp 富澤真澄 masumitmzw@shinshu-u.ac.jp オフィスアワー：随時（要事前連絡） 保健学科中校舎4階 五十嵐久人研究室 随時（要事前連絡） 保健学科中校舎4階 石田史織研究室 随時（要事前連絡） 保健学科中校舎3階 看護助教・助手研究室